

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンジュニア（児童発達）		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 21日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 21日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数のため手厚い支援を受ける事ができる。	専門職による個別療育を実施。特性や発達段階に応じたきめ細やかな支援。	専門性を高め、より良い支援を目指す。
2	児童発達から放デイへのスムーズな移行支援	放デイと多機能で運営しているので、小学校入学時に支援が切れることなくスムーズに移行することができる。	子ども園や学校と連携し、お子さんの支援の共有を図る。
	保護者の方からの相談に適応している。	子育てや発達の悩みなど保護者からの相談に随時対応。連絡ノートや電話、送迎時等、定期的な面談以外も相談に応じている。	保護者の方により良い提案ができる様、研修などを通してスキルアップを図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開所時間や食事提供など保護者のニーズに応えきれてはいない。	国の指針に沿って運営しているが、保護者の就労を支えるには不十分。食事提供は施設の設備、規模的にも難しい。	子ども園と併用していただくことで早朝、延長の時間はカバーができる。 延長支援を利用していただく。 長期休み中の昼食については、希望により業者の配達も可能。
2	ワンストップ体制の周知（移行準備）	将来的なビジョンの想像が難しい。	各事業所の見学を希望に応じて実施する。
	地域の他の子どもたちとの交流の機会が少ない。	保護者の方から必要性を感じないのご意見もいただいている。	外出行事の企画、近隣児童を招いた行事の企画をし、開かれた事業所作りを目指す。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 サンジュニア (児童発達)

公表日 令和7年3月10日

利用児童数

6名

回収数

5

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<input type="radio"/>	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	<input type="radio"/>				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<input type="radio"/>			1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<input type="radio"/>				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2		1	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<input type="radio"/>				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<input type="radio"/>				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<input type="radio"/>				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	<input type="radio"/>	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<input type="radio"/>				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<input type="radio"/>	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	<input type="radio"/>			1	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	<input type="radio"/>				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○	1		1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サンジュニア（児童発達）		公表日		令和7年3月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		国が定める配置人数以上に配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		遊びの部屋、活動の部屋、食事の部屋に分け、お子さんの状況に応じて個別スペースを区切るなどしている。視覚で分かる情報を掲示している。	建物の構造上、完全に音や臭いを絶つことは難しいが、個別に対応を検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		活動の部屋を時間によっては勉強の部屋や運動の部屋として利用している。	毎日の清掃を徹底し、清潔な環境作りに努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		クールダウンのために一部屋を開放することがある。パーティションで仕切る事で個別のスペースを確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		スタッフ会議で確認をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			いただいたご意見は真摯に受け止め、改善に努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的なミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		定期的な社内研修を実施。外部研修に出かけ際は他の職員に伝達を行っている。	児発管以外の職員の外部研修にも積極的に取り組んでいく予定。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		手引きに基づき、職員で話し合った支援プログラムを作成し、ホームページに公表する。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者面談にてニーズを分析、課題と合わせて計画を作成し、目標を提案している。	子ども自身のエンパワーメントに着目した計画を作成する。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児発管が計画案を作成し、スタッフと立案会議を実施。現在の子どもの状態を把握し、検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画は回覧し、全員の職員が確認。実際の支援に活かしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントシートは計画更新時に必ず更新している。各職員が日々の記録を記載し、お子さんの状態の把握に努めている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			ご家庭での支援に活かしていただけるよう、なるべく具体的に記載する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		役割分担をしながら、プログラムを決めている。皆で意見を出し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		お子さんの発達や課題に合ったプログラムになるよう検討している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝業務開始前に打ち合わせを行っており、その日の活動内容や職員の動き、注意点を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務終了後にその日の振り返りをし、内容を記録。その日勤務していない職員も後日確認できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報への記載だけでなく個々の記録を取り、経過を観察し、改善に役立てている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員からの聞き取りを元にモニタリング表を作成し、計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校や子ども園との情報共有を密に行っている。ご家庭から頂いた検査結果やリハビリの内容を参考に支援している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		子ども園などに出向き、情報の共有をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援会議に参加し、得た情報は職員間で共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	○	児童発達支援センター内の保育所等訪問を利用している児童は会議の場でアドバイスをいただいている。	
32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	○	児童館や公園、イベントなどへ出かけた際に、地域の子どもと交流する場合もある。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に子どもの様子を伝えている他、連絡ノートを通じてやり取りをしている。	今後は保護者向けの研修会を予定する。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族で参加できるイベントを設け、ご参加いただいた。	今後は広くご参加いただけるよう、開催の方法や日程を検討する。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に管理者より説明している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談にて保護者の意見を確認、成長発達に必要な支援を組み立てている。	保護者の意見が優先となっているが、お子さんの楽しめる内容としていきたい。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡ノートや電話、面談にて相談に応じている。	適切な助言が行えるよう勉強していきたい。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年1回保護者会を開催している。きょうだい児が参加できるイベントも企画し参加していただいた。	今後は保護者が参加しやすい行事も計画する。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談内容に合わせて、適切な職員がアドバイスするよう心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、広報をお配りしている。HPやInstagramでも活動の様子などをお知らせしている。また、公式LINEも活用。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			日々の様子を撮った写真を保護者宛てに送っているが、他児が映り込む写真は注意が必要。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的に示す、文字だけではなく絵やジェスチャーを用いて意志の疎通を図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	○	畑作業にボランティアの地域の方に来ていただき、焼き芋をする際にお誘いした。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	○	消防訓練には年2回取り組んでいる。	家族への周知に努めたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			災害時の備蓄に努めたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		職員間で共有確認をしている。緊急対応表を見えるところに掲示している。お子さんによっては抗てんかん薬をお預かりしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		指示書に基づき緊急時対応表を作成、共有している。誤食に備えた薬のお預かりもしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		スタッフ会議にて検討、再発防止策について話し合っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を実施している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		必要なお子さんについては事前の説明と承諾を得て計画に記載。実施した場合には記録を取り、検討会議も行っている。		